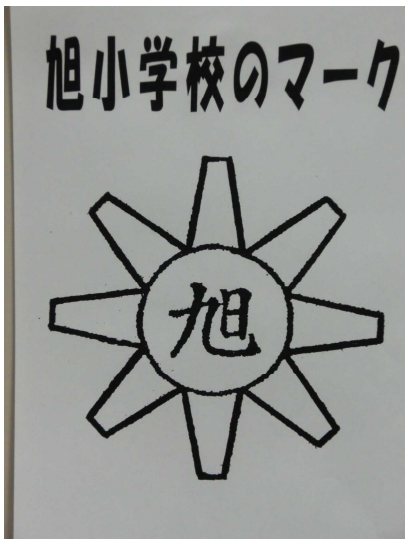


かがやけ あさひ

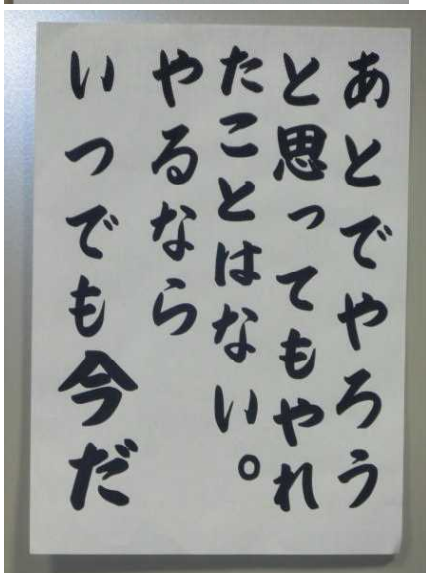
校長室だより 10月

日ごとに秋の深まりを感じる季節になってきました。もうすぐ地域のだんじり祭りも始まります。伝統のお祭りを怪我なく楽しんでもらいたいと思います。



校長室より

左は旭小学校のマーク、つまり校章ですね。三年前に私がこの旭小学校に転勤してきた時、学校の名前から【あさひは太陽・太陽は誰にもあかるさ、あたたかさ、おだやかさを与え続けるよ】という思いを話しましたが、このあさひのマーク、校章はまさに太陽をイメージした形になっています。とてもいい校章だと思います。標準服もそうですが、校章の入った名札も大切なものです。自分は旭小学校の一員だという自覚とほこりを持ち、誰に尋ねられても自信を持って胸をはって答えて、我が母校のことを話してほしいと思っています。標準服や名札は、クラスでも学校でもその大切な仲間とともに過ごしているんだと…。これからも旭小学校を誇りに思い、大切にしていこうとする母校愛や地域愛が生まれてくるといいと思います。



私自身、小学校時代に担任の恩師から常日頃言われてきたことを思い出します。ちょうど五年・六年の担任の先生だった人が、校長室の旭小学校歴代の校長先生として写真が飾られています。第19代目の佐納雄次郎先生です。『いつ

も嫌なことから先しなさい。気になることから先しなさい。』と。写真を見るたびに思い出します。後で後でと後回しにしていると、結局は何もできないことが多いですね。やると決めたら、やるのは今・今が大事なのです。

福祉の学習！！



【いっしょにね】
というハンディをもつ子・もたない子と大人たちの楽しい出会いの会の人たちが、2年生の学習に来てくださ

いました。ハンディをもつ人たちと楽しく、仲良く支えながら生活していくための社会づくりを教えてくださいました。点字ブロックや身体障がい者マークで、理解しあうこと。これは国際シンボルマークになり、世界中の人たちが同じ気持ちで接していけることやヘルプマークを見たら、助けてほしいというサインということを知りました。後のパネルシアターでは、そのかわり方がわかり、とても理解しやすかったです。クラッチや支える靴、転倒から頭を守る保護帽も紹介してくれました。どれも装具といって障がいのある人の生活を支える大切な道具なのです。



6年生は、高齢者理解の一環として、「認知症」の話を福祉協議会の方々が来られて学習をしました。福祉とは、みんなが幸せな生活を送れるように、困っている人、幸せでない人に幸せになってもらえる手助けをすることですね。認知症になっている人やなりつつある人を、どう支え、少しでも助けてあげられるためにはと…。ゴミ出しや買い物風景、道に迷い家になかなか帰れない人のDVDを見ながら、間違った対応と望ましい対応を学びました。やはり、相手の自尊心を傷つけないようにするにはどうしたらよいかを考え、話しかけるのも、前から優しくゆっくりと語りかけることも大切ですね。